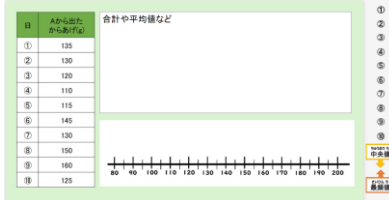
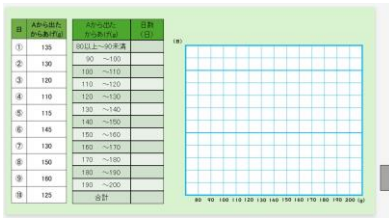


おすすめICT活用事例のご紹介

区分	学年	教科等	単元等	活用アプリ
小	6	算数	データの活用	スライド
授業内容	複数のデータをもとに、データの見方と活用の仕方を学ぶ			活用ツール 図形・テキスト・描画
	準備： ・資料・ワークシート用ファイルを準備する。 ・資料・ワークシート用ファイルを班の数分コピーして共同編集できる場所に保存する。 授業の流れ： 1. （資料：スライド1、2枚目）各自、自分の班のワークシート用ファイルを開き、スライド1枚目の課題「毎日からあげが出てくる『不思議箱』が3つあります。どれか一つの箱を1日だけ借りるとしたら、あなたはどの箱にしますか？」について、スライド2枚目のデータを見て、各自で考え、選んだ箱を理由とともにノートに書いておく。 2. 班になり、各自どんな理由でどの箱を選んだのか意見を共有する。 3. （ワークシート①）班で不思議箱（A、B、C）を分担して、それぞれのシートでデータをドットプロット図に整理し、合計値や平均値を式などで表す。ドットプロット図から、最頻値や、中央値を求めて矢印で示す。 4. （ワークシート②）データを度数分布表に集計し、ヒストグラムで表す。 5. （ワークシート③）班のなかでA、B、Cそれぞれを担当した人がワークシート①、②のデータの分析結果を発表する。班で話し合い、どの箱を借りるか決め、選んだ理由をワークシートに入力する。 6. 全体でワークシート①②の結果を確認し、各班のワークシート③について意見共有する。			ワークシート①： ドットプロット図 
				ワークシート②： 度数分布表・ヒストグラム 
				ワークシート③： 選んだ箱と理由 <p>選んだ箱は□□です</p> <p>○○だから、この箱を選びました。 なぜなら、△△だからです。</p>
	ICT利活用のポイント			具体的なデータを使って、ドットプロット図、度数分布表・ヒストグラムを作り、整理したA、B、Cそれぞれのデータを比較することで、代表値やグラフの見方や活用の仕方の理解を深めることができます。
おすすめポイント			からあげが出てくる『不思議箱』という、子供たちが思わず取り組みたくなる課題を使って、データの特徴のとらえ方や統計の有用性を感じさせることができます。	

ワークシート①入力例（不思議箱：A）

日	Aから出た からあげ(g)
①	135
②	130
③	120
④	110
⑤	115
⑥	145
⑦	130
⑧	150
⑨	160
⑩	125

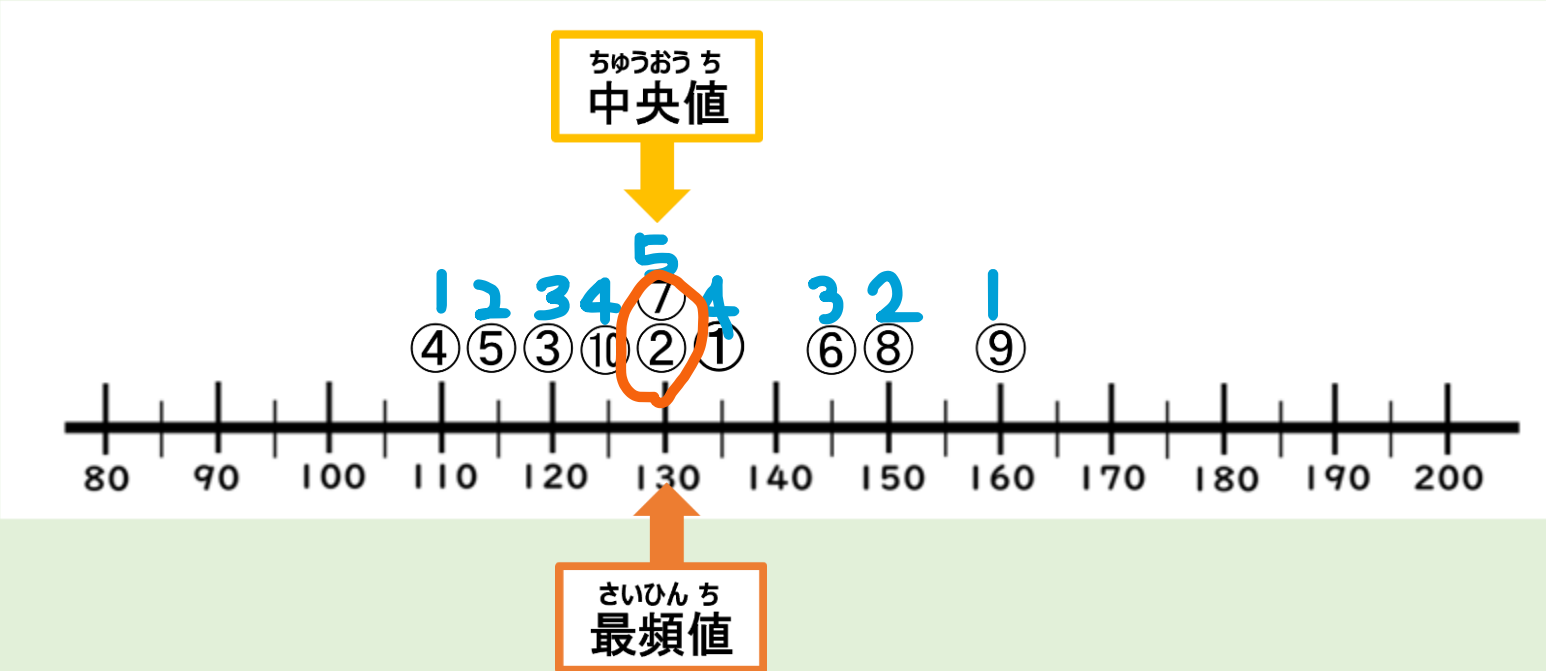
合計や平均値など

$135+130+120+110+115+145+130+150+160+125=1320$

合計 1320g

$1320 \div 10 = 132$

平均 132g



ワークシート②入力例（不思議箱：A）

日	Aから出た からあげ(g)	Aから出た からあげ(g)	日数 (日)
①	135	80以上～90未 満	
②	130	90 ～100	
③	120	100 ～110	
④	110	110 ～120	2
⑤	115	120 ～130	2
⑥	145	130 ～140	3
⑦	130	140 ～150	1
⑧	150	150 ～160	1
⑨	160	160 ～170	1
⑩	125	170 ～180	
		180 ～190	
		190 ～200	
		合計	10

(日)

